社会福祉法人誠心会平成３１年度事業計画

１．経営理念

社会福祉法人誠心会は、福祉事業を通じて「お互いが思いやり、助け合いながら生きていくことができる、ぬくもりのある地域社会の実現」に向けて、誠心誠意尽くします。

２．基本方針

（１）　利用者第一のサービス（利用者）

利用者を第一に考え、安心して快適な生活が送ることができるサービスを提供します。

（２）　活き活きとした職場　（職　員）

明るく、活き活きと安心して働き続けられる職場環境を創ります。

（３）　健全経営の取り組み　（経　営）

経営の効率化、業務改善を図り強固な財政基盤を確立して持続可能な法人を目指します。

（４）　地域社会との協働　（地域社会）

地域社会と連携・協働により、共に生きる地域社会の実現を図ります。

３．誠心会が目指すビジョン

「　葛巻における誠心会ならではの、かけがえのない　値打ち（満足）　」

（１）　利用者を満足させる事業展開（顧客の満足）

少子高齢化が急速に進む中で、高齢者福祉サービスの提供者として、利用者第一の考え方を基本に、利用者が満足するサービス提供を目指します。

（２）　活気ある組織づくり（職員の満足）

豊かな人間性と活気ある組織を育てます。人の絆を大切にしながら、お互いが助け合い、課題の改善や専門職としての意識を高めるための教育や研修に取組、いちまでもやりがいや働きがいを持てるような組織を目指します。

（３）　健全な財政基盤の確立（経営の満足）

措置から利用者契約制度への移行と民間参入の時代を迎え、今後共に生き残るためには、健全な財政基盤を築きながら継続した社会貢献事業ができるよう目指します。

（４）　地域支援、地域密着サービスの提供（地域社会の満足）

全ての人が安心して暮らすことができる地域社会の実現のため、「地域との協働」の姿勢を維持し、多くの地域住民と手を取り合いながら様々な事業を展開し、地域社会で信頼され、選ばれた法人を目指します。また、温かい心を大切に、懇切丁寧に、お互いが支え合って生きていくことができる地域福祉の実現を目指します。

４．平成３１年度の重点目標

（1）　施設・設備等の老朽箇所を把握し、施設の建替えや改修等について中長期計画の立案や暮らしやすい快適な生活環境の整備に努めます。

（2）　時代の要請に応じた新たな事業の展開や利用者や家族、関係機関からの要望、助言等を基に既存サービスの見直しを行い、サービスの質の確保や地域に根ざした特色あるサービスの提供に努めます。

（3）　働き方改革関連法の施行に伴う諸規程の改正や多様な働き方ができる新たな雇用形態の構築に努めます。

（4）　組織が活性化する人材(運営の中核を担う人材、経営的視点を持った人材、サービス提供に携わる優秀な人材等)の育成と確保に努めます。

（5）　理事会、評議員会が適切に機能するよう内部管理体制の強化に努めます。

（6）　税理士法人より「財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援」を受けながら、経営組織のガバナンスの強化に努めます。

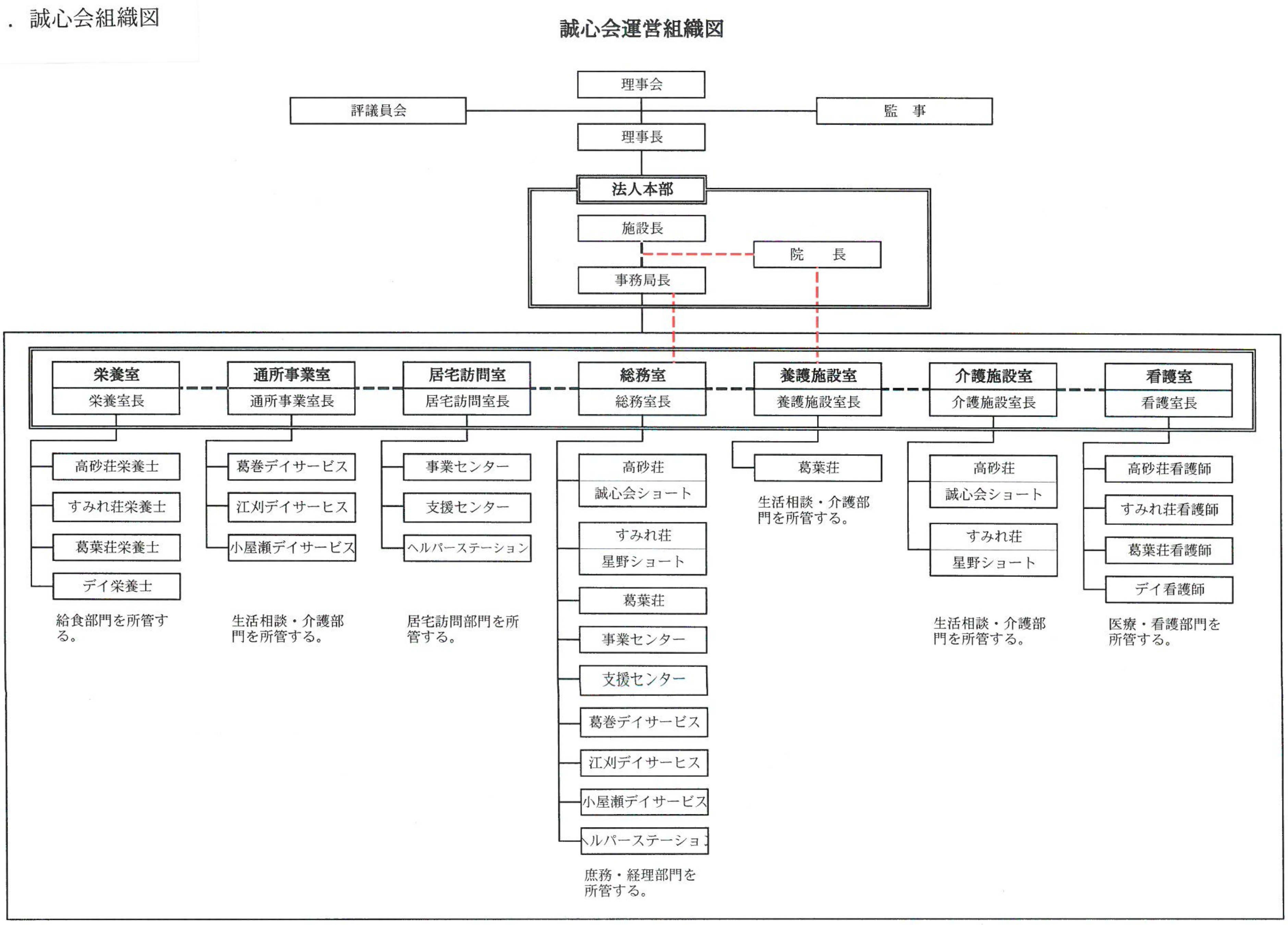
（7）　地域の身近なパートナーとして、地域住民が暮らしやすい社会への一翼を担うため、地域公益活動（あんしんサポート相談員の養成、未就労者が自立した生活を送れるよう就労準備ボランティア事業への参画等）を積極的に展開します。

（8）　多様で複合的な地域生活課題について把握・検証し、地域共生社会の基盤造りに努めてまいります。

５．誠心会本部事業計画

	内　　容			
月	理事会	評議員会	監事監査	事務処理体制支援
4				
5			決算	決算
6	第１１回（決算） 第１回（理事長互選）	定時（決算、役員改選）		
7				
8			第１四半期分	第１四半期分
9				
10	第２回（補正予算）			
11			第２四半期分	第２四半期分
12				
1	通常			
2			第３四半期分	第３四半期分
3	第３回（予算）			

6．誠心会組織図


誠心会運営組織図
理事会
評議員会
監　事
理事長
法人本部
施設長
院　長
事務局長
栄養室
栄養室長
高砂荘栄養士
すみれ荘栄養士
葛葉荘栄養士
デイ栄養士
給食部門を所管する。
通所事業室
通所事業室長
葛巻デイサービス
江刈デイサービス
小屋瀬デイサービス
生活相談・介護部門を所管する。
居宅訪問室
居宅訪問室長
事業センター
支援センター
ヘルパーステーション
居宅訪問部門を所管する。
総務室
総務室長
高砂荘
誠心会ショート
すみれ荘
星野ショート
葛葉荘
事業センター
支援センター
葛巻デイサービス
江刈デイサービス
小屋瀬デイサービス
ヘルパーステーション
庶務・経理部門を所管する。
養護施設室
養護施設室長
葛葉荘
生活相談・介護部門を所管する。
介護施設室
介護施設室長
高砂荘
誠心会ショート
すみれ荘
星野ショート
生活相談・介護部門を所管する。
看護室
看護室長
高砂荘看護師
すみれ荘看護師
葛葉荘看護師
デイ看護師
医療・看護部門を所管する。

７．各室の事業計画

（1）総務室

〈総務室目標〉

・人材の確保・育成、定着を図るために方策の検討に努める。
・中長期経営計画の見直し
・誠心会３０周年記念行事の開催

今期の重点目標	実現のため具体的方法	区　分
1　人材の確保・育成 支援を必要とする人々と向き合い、寄り添い、支えながら、人間としての尊厳のもとに、より適切な福祉サービスや生活課題の解決のための支援に取り組むことができる人材確保と育成に努めます。	①　良質な人材確保のために、既存のホームページ、パンフレット、広報紙などの見直しを行うとともに、積極的な情報発信に努めます（前期） ②　企業ガイドブックへ法人情報を掲載するとともに近隣の高校・専門学校等へ情報発信します（前期）	強　化 新　規
2　人材の定着 働き方改革関連法の施行に基づき、職員が専門性を活かし生き生きと活躍し、やりがいを持って働き続けられる職場環境（魅力のある職場づくり）を構築し、人材の定着を図ります。	①　職員一人ひとりのワーク・ライフ・バランスと、企業による優秀な人材の確保や定着を同時に可能とするよう雇用の在り方について検証します ②　労働時間及び年次有給休暇取得状況の把握により、労務管理の適正化を図ります	新　規 強　化
3　利用料金の口座振替 利用料金収納に関し、透明性を確保するとともに利用者の利便・経費削減を図るために、利用料金の自動振替サービスを導入・運用を図ります。	①　自動振替サービスの導入（４月） ②　利用者への周知・口座振替手続（５月） ③　自動振替サービスの運用（７月）	新　規
4　施設・設備の改修・修繕 誠心会中長期計画の見直し時期となることから、各施設等の改修・修繕に関し関係者（設計業者等）による検討会を開催し、中長期的な施設等改修・修繕計画並びに資金運用計画の方向性を協議します。	①　建物・設備等の改修・更新に関する検討会を実施し、報告書を作成する（前期） ②　上記結果について理事会へ提案する（後期） ③　中長期経営計画への反映（後期） ④　中長期的資金運用計画の作成	強　化 強　化 強　化 強　化
5　法人設立３０周年記念行事 設立３０周年に向けて、記念誌の発行、記念行事の企画等諸準備を進めます。	①　記念式典及び祝賀会準備（前期） ②　記念誌発行準備（前期）	継　続 継　続

（２）介護施設室

〈介護施設室目標〉		
社会福祉施設の専門職としての自覚と思いやりを持って、サービスの提供に努めます。また、家族、地域との交流を図りながら、信頼関係を更に築けるよう努めます。 施設内外の研修に参加し、職員一人ひとりが知識・技術などを向上できるよう努めます。		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区　分
（生活相談） 【高砂荘】 利用者が安心して心地よい生活を送れるような支援の提供を目指し、職員の資質向上に向けた環境作りに努めます。	①　内部研修会の充実 外部講師を招いての研修会の企画・運営 （前期　接遇研修会、障害・身体拘束研修会） （後期　虐待防止研修会） ②　安心サポート相談員の地域公益活動（随時） ③　眠りSCAN・センサー使用の状況確認と検証 （３月に１回）	強　化 継　続 新　規
【すみれ荘】 1　地域との連携を深め、利用者の生活意欲の向上につながるサービス提供の体制整備に努めます。	①　地域ボランティアによる施設保全活動の要請 ②　施設内行事、社会参加の機会確保 家族地域交流会の実施（11月） ③　利用者、家族との相談支援による信頼関係の構築 ④　職種間からの意見聴取、確認による業務環境の充実	継　続 継　続 強　化 新　規
2　運営推進会議を開催し、地域、家族、利用者の要望等の業務反映に努めます。	①　会議の定期開催（年６回定期開催） ②　地域、家族、関係機関との情報交換及び業務反映の考察	継　続 強　化
（介護計画） 【高砂荘、すみれ荘共通】 一貫したサービスの提供を行うことで生活の質（ＱＯＬ）の向上に資するケアプランを作成するために、利用者、家族の意向確認、他職種との連携･情報の共有に努めます。	①　他職種との定期的な情報交換による情報の共有（毎月） ②　家族への状態報告及び意向・要望の確認（毎月） ③　ケアプランの質の向上（外部研修の積極的参加）	強　化 継　続 継　続
（介　　護） 【高砂荘】 1　利用者の生活リズムを整えることで、利用者が生活意欲を持ち健康で安心して生活できるよう努めます。	①　個別外出の充実 用途別の外出支援（年８回） ②　健康体操の実施 自然排便を促す体操（週３回） ③　利用者の体調変化を早期に発見するためのセンサーの活用	強　化 新　規 継　続

2　現行の支援体制のもと効率的な業務が行えるよう業務の再確認を行うとともに、質の高い支援ができるよう努めます。	①　担当業務を再確認し、サービスの質の向上のための検討会の開催（月１回） ②　各部会において研究・研修を行い、その結果を介護士全員へ伝達する研修会の開催（年１回）	継　続 継　続
【すみれ荘】 健康で安心した施設生活を送れるよう介護技術の向上を図るとともに、衛生面、環境面に配慮環境整備を行い、利用者の施設での生活が継続できるよう努めます。	①　介護技術向上のための研修会の開催（３月に１回） ②　業務の効率化を図るための検討会を開催（月１回） ③　余暇活動、行事、趣味活動、外出支援の充実（５月～１０月）	強　化 継　続 継　続

（３）養護施設室

＜養護施設室目標＞

・健全な生活習慣の重要性に理解を深め、健康の増進に努める。
・入所者の生活意欲向上に努める。
・施設の機能を高めるため、積極的に世代間交流を深める。
・多様化するニーズに寄与するため、職員の質の向上に努める

今期の重点目標	実現のための具体的方法	区　分
（生活相談） 1　利用者の自立に向けた健康又交友関係が築けるよう指導に努めます。	①　支援計画の点検及び見直し（隔月） ②　要望調査（５月・１１月） （ＡＤＬ調査とあわせて実施）	継　続 継　続
2　支援の実現のため他職種との連携をとり切れ目のない支援に努めます。	①　個別処遇計画の評価及び再策定（２ユニット毎） ②　定期相談の実施と評価（毎月１ユニット） ③　調査の実施（長谷川式６月　満足度12月）	継　続 継　続 新　規
3　地域との交流発信又ボランティアの受け入れを行い関係機関との協力に努めます。	①　各種団体との調整（随時） ②　施設行事への地域住民の参画（６月８月11月）	継　続 強　化
4　利用者の意欲を高め生活の質の向上に努めます。	①　研修会（6月、11月、２月） ②　月１回の清掃活動	継　続 強　化
（支援） 1　利用者の自立した生活環境を支援します。	①　筋力体操、脳トレーニングの実施（毎日） ②　筋力体操、脳トレーニングの評価・検証（毎月）	強　化 新　規
2　業務改革し利用者の楽しみを増やすように努めます。	①　外出支援（各ユニット２回・４～１０月） ②　外出支援の評価・検証（隔月） ③　ボランティアの受け入れ（随時）	強　化 新　規 継　続

（４）看護室

〈看護室目標〉
・利用者の信頼、安心、安全に過ごせるよう、意向を尊重し看護に努めます。 ・利用者の重度化や認知症により多様化するニーズや医療的援助等を各職、関係機関と連携し情報の共有を密にし身体機能維持や向上に努め、施設、在宅生活が継続できるようサービス提供に努めます。

今期の重点目標	実現のため具体的方法	区　分
（看護） 【高砂荘】 認知症が増加している情況にあり、心身機能や多様化する医療的援助等に、各職、各関係機関と連携を図り施設生活が継続できるよう努めます。	①　利用者状態把握確認、情報の共有 （４月、１０月、随時） ②　医療技術の研修会の開催（６月、１０月、随時） 各機関の研修会の開催（随時） ③　特定行為業務の実施・指導（１１月～２月、随時） ④　酸素飽和濃度の測定（５月、１０月、２月、随時） ⑤　アルブミン結果、評価（定期検診、１０月、随時） ⑥　体重測定（毎月１～２回） 評価（１０月、２月、随時） ⑦　褥瘡対策 アセスメント（４月、７月、１０月、１月） 対象者の計画策定、評価（毎月）	継　続 継　続 強　化 強　化 継　続 継　続 強　化
【すみれ荘】 多様な利用者が、快適で安心・安全な生活の継続ができるよう、ケアの連携に努めます。	①　利用者状態把握確認、情報の共有 （６月、２月） ②　内部研修会の実施 緊急時対応（４月、９月） 感染症防止対策（５月、１０月）	強　化 継　続
【葛葉荘】 1　利用者の身体状況の多様化及び重度化の把握により、異常の早期発見・早期対応に努めます。	①　疾病・疾患に対する個別指導（随時） ②　褥瘡等に関する専門研修への参加（通年）	継　続 継　続
2　施設内感染予防のため、環境の維持又情報の共有に努めます。	①　利用者の健康状態把握及び検証（６月・２月） ②　感染症予防等に関する内部研修会の実施（６月・10月）	 強　化 継　続
【各デイ共通】 利用者の健康状態の把握に努め、他職種と連携し、感染症の予防や健康状態の維持に努める。	①　感染症予防の指導、助言 ②　体重測定の実施、評価、健康指導 ③　健康チェックと健康指導	継　続 継　続 継　続
（機能訓練） 【高砂荘】 生活リハビリや口腔体操にて	①　身体機能の把握（４月、１０月）	継　続

身体機能を維持しながら、生きがいのある生活が出来るように努めます。	② 個別生活リハビリ計画、評価（５月、１１月） ③ レクリハ、生きがい活動の実施、確認（随時） ④ 嚥下体操（あいうべ）の実施（４月、１０月） ⑤ 生きがい活動、機能訓練意向調査の実施（１２月～１月）	強化 継続 強化 継続
【すみれ荘】 生活リハビリや生きがい活動の充実により、身体機能の維持と精神状態が安定して意欲を持って過ごせるよう努めます。	① 毎日のリハビリ体操、毎食前の口腔体操の実施 ② 生活リハビリの実施と検証及び改善を図る ③ 個々の状態に合った、生きがい活動内容の意向調査の実施（8月、2月）	継続 継続 継続
【葛葉荘】 身体機能の維持及び低下防止のため、訓練の継続かに努めます。	① 他職種と連携し、筋力、脳トレーニングの実施（通年） ② 機能訓練等に関する専門研修への参加（通年）	継続 新規
【各デイ共通】 利用者個々の状態に合った機能訓練や認知機能の低下予防のリハビリの実施に努める。	① 他職種協働によるリハビリ（レクリエーション）の企画、実施 ② 身体能力調査の実施・評価（年１回） ③ 口腔体操の実施	継続 継続 継続

（５）栄養室

〈栄養室目標〉

・安全な給食を提供することにより、利用者の栄養状態の改善を図ることで、健康的な生活が送れるよう努めます。

今期の重点目標	実現のため具体的方法	区分
【高砂荘】 1 利用者の体重管理とともに、給食改善に努める。	① 栄養計画の定期的評価・見直し（４月、１０月、随時） ② 食事摂取状況の評価（４月、１０月、随時） ③ ＢＭＩ数値の確認と評価（健診後、随時） ④ 個別給食プランを作成し、献立反映に努める。	新規
2 食事検討部会と連携し、食の環境作りに努める。	① 食事や間食に関する問題を把握し、他職種と連携して問題解決に努める（随時） ② 食事摂取量の確認により、水分補給強化対象者を割出し、適切な水分補給量の確保に努める（１１月）	強化
【すみれ荘】 1 利用者の体重管理とともにＢＭＩの数値が目標範囲に留まる割合増えるよう食事改善に努める。	① ＢＭＩ数値の確認と評価（健診後、随時） ② 個別給食プランを作成し、献立反映に努める。 ③ 配食変更に伴う配膳指導（月１回）	継続

2　他職種と連携し、食の環境作りに努める。	①　嗜好調査により利用者の食事摂取量の向上に努める（１１月～１月）	継　続
【葛葉荘】 1　給食提供方法と献立内容を精査し、安定した食事摂取ができるように努めます。	①個別食事提供表の作成（毎月） ②行事食等の内容及び提供方法等の指示書作成（毎月）	継　続 継　続
2　嗜好調査の意見を取り入れ、利用者の満足度に応えるように努めます	①委託業者とのメニュー検討会の実施（毎月）	新　規
3　他職種との連携を密にし、利用者の状態把握に努め、健康が維持できるよう支援を行います。	①食事摂取状況の把握と栄養状態の確認 ②嚥下状態の確認、評価及び適正食事形態の検討（毎月１ユニット）	強　化 強　化
【葛巻デイ】 利用者の摂取状況やＢＭＩを把握し、課題のある利用者の健康維持・改善に努めます。	①　嗜好調査の実施（９月） ②　他職種連携した栄養スクーリングの実施と評価（５月、１１月） ③　栄養教室、手作りおやつの実施。（７月、１月）	継　続 強　化 強　化
【江刈デイ・小屋瀬デイ】 外部提供業者と連携し、食に喜びを感じられる食事提供に努めます。	①　嗜好調査の実施。（９月） ②　栄養教室、手作りおやつの実施。（６月、１２月）	継　続 新　規

（６）通所事業室

〈通所事業室の目標〉		
高齢や疾病により認知症や機能障害を抱えながら在宅で暮らす利用者が、残存能力を生かし自立した生活を続けられるよう、地域や関係機関と連携し、社会的孤立の解消、家族の介護負担の軽減を図りながら、利用者自らも生活意欲を高められるよう通所介護サービスの提供を目指します。		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区　分
（生活相談） 【共通】 利用者が残存能力を生かせるような個別援助計画作成のため、家族や他職種との連携を図ります。	①　サービス担当者会議の参加により、利用者、家族の情報を共有し、ケアプランに沿った他職種連携の個別援助計画の作成と見直し ②　利用者アンケート実施・評価・分析（11月）	新規 強化
【葛巻デイ】 関係機関と連携し地域ニーズを把握し、地域で暮らす利用者が安心して通える通所事業所	①　ケアマネ連絡会に参加し居宅支援事業所や関係機関との情報共有 ②　外部研修や内部研修の計画と実施	新規 強化

としての環境整備や職員の資質向上に努めます。 【江刈・小屋瀬デイ】 地域密着推進会議等を通し、地域のニーズを把握し、高齢者の憩いの場作りに努めます。 （介護一般） 【共通】 利用者の残存能力を生かすための支援計画に沿って、安全で安心を与える介護技術の提供に努めます。 【葛巻デイ】 介護予防支援充実のため生活機能向上の「共通サービス」に加え「選択サービス」を設け利用者に喜ばれる活動の提供に努めます。	③　ボランティアの受け入れ ①　地域密着推進会議の開催（９月、３月） ②　地域ボランティアの受け入れ ①　個別援助計画に沿ったサービス提供・評価 ②　介護技術研修会の実施（合同研修会） ①　選択サービスの提案、実施、評価 ②　認知機能向上のためのリハビリの実施	継続 新規 強化 継続 継続 新規 継続

（７）居宅訪問室

〈居宅訪問室の目標〉		
医療、介護、障害福祉との連携を図り、質の高いケアマネジメントの推進、利用者の自己決定を尊重し能力に応じたサービス提供を行い在宅生活の支援に努めます。また、地域包括ケアシステムの構築と深化に貢献できるよう、地域の関係機関との連携強化を推進します。		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区　分
【事業センター】 1　医療機関との連携を図り、サービス事業所と協力して医療ニーズの高い利用者に手厚いケアプランが提供できるよう努めます。	①　入院時の迅速な情報提供と退院時のアセスメント強化を心掛け、退院支援及び在宅生活への移行を円滑に進められるよう関係機関等との連携を図ります ②　障害福祉制度の相談支援専門員と連携し、共生サービスの促進を図る ③　事業所内の事例検討会を定期的に行うとともに他事業所合同の事例検討会に積極的に参加し、支援の在り方や経過、結果を検討することで介護支援専門員の資質の向上と専門性を高める （事業所内検討会　年６回、合同検討会　年２回） ④　主任介護支援専門員、専門研修等を計画的に受講し、専門性の向上に努めます	継　続 継　続 継　続 強　化
2　地域と連携した見守り体制を構築する。	①　災害時において、リスクの高い利用者に配慮した防災カードの整備を行い、緊急時支援が円滑に行え	強　化

	るよう体制づくりに努めます ② 包括支援センターとの連携、ケアマネ連絡会等での情報を共有し、地域ニーズを把握した支援に努めます	 継 続
【支援センター】 1 地域包括ケアシステムの基本的な共通認識を持ち、支援活動に取り組みます。	 ① 高齢者、家族が地域の見守りを受けながら住み慣れた住まいで安心して生活できるよう、住民の生活課題を捉え包括支援センターへつないでいきます ② 地域ケア会議に参加して、地域課題に対する情報提供を行います	 継 続 継 続
2 実態把握を行い生活の様子を把握し、本人・家族の生活課題を関係機関へつなぎ、安心して暮らせるよう支援します。	① 家庭訪問による実態把握で抱える困りごとの相談について包括支援センターと連携を図り、支援につなげます ② 緊急通報システムを効果的に活用してもらうため、地域住民へシステムの周知を行います	継 続 継 続
3 介護予防事業を通じて地域の皆さんに交流の機会、運動機能維持のための運動指導を提供し、健康長寿を支えます。	① 定期的に介護予防教室を開催し、介護予防の必要性について啓蒙を行い参加を促進します ② リハビリの専門職等と連携し集いの場でリハビリ運動の指導を行い、体力の維持・向上を促し身体機能の維持につなげます	継 続 継 続
【ヘルパー】 （サービス提供責任者） 1 利用者の状態把握と情報共有に努め、居宅支援事業者と協力して適切なサービス提供に努めます。	 ① 利用者の話しやすい環境づくりを心掛け、ニーズの把握に努めます ② 居宅支援事業者及び関係機関との情報共有に努め、住み慣れた自宅での生活が継続出来るよう、ニーズに応じたサービスを提供します	 強 化 強 化
2 業務内容の検証を行い、職員の資質の向上を図ります。	① 介護技術研修の開催（年 3 回） ② 業務マニュアルを見直し、自立支援に効果的なサービス提供を目指します	継 続 新 規
（訪問介護） 介護技術、知識の向上を図り、ニーズに応じたサービスを提供し、利用者の自立を支援します。	 ① 各種研修会に参加し業務に対する知識、技術の向上に努めます ② 計画に沿ったサービスを提供するとともに、変化に対応できるよう素早い情報伝達に努めます。	 継 続 強 化